

記入日 2020 年 11 月 22 日

一般社団法人日本薬学生連盟

2021 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	木村 菜菜子
立候補する役職	国際渉外統括理事
大学/学部/学科	北里大学/薬学部/薬学科
学年	2 年
所属	国際渉外部・学術委員会・交換留学委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2019.4 日本薬学生連盟入会 国際渉外部・薬学教育委員会所属 2019.10 APRO Editorial and Translations Subcommittee 所属 2020.4 国際渉外統括理事就任
立候補動機	2020 年度国際渉外部では、統括理事として団体内外への国際系部署の周知と、IPSF の活動への参加を積極的に行ってまいりました。しかしながら、1 年では成し遂げられない課題も多く、後継も見つからなかったため 2 期連続での活動を希望いたしました。
問題点と改善案	<p>① 国際渉外部の活動の認知度が低い。 ② IPSF(国際薬学生連盟)の活動およびイベントの認知度が低い。 ③ 海外に飛び出したいという学生をサポートする体制が不十分である。</p> <p>上記3つの課題を解決するには、 ・新歓・薬フェス・年会での適切なリクルート ・SNSやイベント開催を通じた継続的な活動紹介 の2つが重要であると考えます。</p> <p>特に来年度は新歓時のリクルートに力を入れていきます。海外での活動に興味のある学生は国内に大勢いることから、提携サークルや外部への広報を中心に積極的に国際団体としての日本薬学生連盟の魅力をアピールすることで、前年度以上の多様な学生層にアプローチしていきたいと考えています。そのため外務部やプロモーション部との連携を強化していきたい所存です。同時に、交換留学委員会との活動のすみ分けをどう新規スタッフに伝えるかについても方針を固めていきたいです。</p> <p>また、前年度国際系の講演会で大きな反響を得たことから、「日本語で海外の医療活動について学べる機会」に学生が強い興味を持っていることが確認できました。新型コロナウイルスの影響でIMTやIPSFのイベント開催が滞る中、オンラインで学生のニーズにどこまで応えていけるかを見極めていきたいです。</p>
活動計画	<p>前提: 来年度の活動は年度末の現行メンバーとの話し合いで最終的に決定します。</p> <p>通年: 英語版報告書(AR)の作成、世界デーオンライン啓発活動</p> <p>上半期: APPS2021Manila の広報・参加登録サポート ※新型コロナウイルスの影響で開催方式は未定 予定は変更される場合があります。 講演会開催(台湾のコロナ対策について) APRO サブコミインタビュー動画作成 他: 海外の団体との合同企画はオファーがあり次第検討します。</p> <p>下半期: IMTの準備(同様の理由で未定) APRO サブコミの活動サポート 年会企画準備</p>

所信

今年度の部署目標は「世界をもっと身近に」でした。
コロナ禍で国際活動が制限される中、海外の薬学生たちどう関わっていけるのか。医療分野でのグローバルな視点をどう養っていけるのか。日々考えながら活動してきました。言葉の壁もあり、さらに簡単に海外には行けなくなってしまった今の世の中で「世界を身近に感じる」ことはとても難しいことだと思います。

私はもともと人を率いるのが得意な性格ではありませんから、この1年スタッフの皆様には沢山支えられてきました。だからこそ、この感謝を、部署に所属したスタッフには「世界が広がった」「入ってよかった」と思ってもらえるような還元によって伝えていきたいと思っています。

これらの思いは来年度も変わりません。私にできることは前年度の課題に取り組みながら、薬学生のニーズに応えた企画・交流の場を提供し続けていくことです。忍耐と継続を武器に、「世界をもっと身近に」から、「世界と共に」歩んでいけるような国際渉外部をこれからも目指していきたいと思っています。